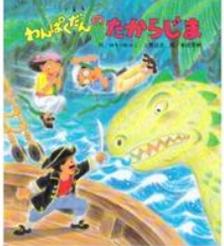


# 4歳児クラス 8月 第2回 「わんぱくだんのたからじま」

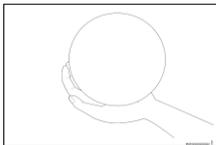
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師のエプロンのポケットにビー玉を忍ばせておく。</li> <li>「ここに先生の宝物があるの」ポケットを外側から触らせるなどし期待感を持たせ、出しかざして見せ、両端の席の子どもから順番にビー玉を実際に触らせる。</li> <li>ビー玉を覗いて、「何かが見える！皆も一緒に見てみよう！！」等でお話に繋げる。</li> <li>絵本を読み終わったら、もう一度ビー玉を覗き「宝島が見えたね！」と、宝島の世界に浸ってみる。</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> <li>ビー玉</li> </ul>	保育士の役割	
読み方	<p>①「エイエイオー！」の掛け声を一緒に掛けたり、「それ！行くぞー」と気合を入れたりしながら、子ども達も冒険しているような雰囲気を作りながら進める。</p> <p>②最後まで集中できるように、「次はどこへ行くんだろう？」など、問い掛けをしながらゆっくりわかりやすく読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に発言する</li> <li>子どものフォロー</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	記憶	お話を思い出して、質問に答えることができる	
設問	お話を思い出して、質問に答えましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「面白いお話だったね、先生も宝島に行ってみたいな」</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「少しお話を思い出してみよう」等で、子ども達に質問をする。</li> <li>【質問例】</li> <li>①わんぱくだんの3人はそれぞれ何をつけて海賊になりましたか (答え：ハンカチ・紙・葉っぱ)</li> <li>②猛獣のいる崖からどうやって逃げましたか (答え：ターザンになって)</li> <li>クラスに合わせて質問を考えておき、なるべく全員に答えさせるように配慮する。</li> <li>絵本やシアターで答えを確認しながら進めていく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> </ul>
			保育士の役割
活動②	巧緻性	ハサミで線の上を切る事が出来る	
設問	宝箱の鍵をハサミで切って作りましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「宝箱が届いたよ！」宝箱封筒提示（P1プリントを入れておく）</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「ありがとう…あれ？これ開かないよ、どうすればいいんだ？」</li> <li>保：「宝箱を開けたければこれを鍵にして」ハサミのドライブ提示。</li> <li>講：「ありがとう、でもこのままでは開かない…どうすればいいのかな」と問い掛け、ハサミで切ることを導き出す。</li> <li>切り方の見本を見せる。</li> <li>「チョキチョキ 持ち替えて」等で、腕を回すのではなく、紙を持っている方の手を持ち替える。ハサミと線は常に真っ直ぐ。</li> <li>左利き用の用紙もありますので使用してください。</li> <li>全員が切り終わったら称賛する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>提示用ハサミのドライブ用紙</li> <li>ハサミのドライブ用紙</li> <li>★ハサミ</li> </ul>
			保育士の役割

<b>活動③</b>	<b>表現</b>	クレヨンで色を塗り、自分なりの魔法のビー玉を表現することが出来る	
<b>設問</b>	いろいろな色を使って魔法のビー玉を描きましょう		教材
<b>講義</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「これで宝箱が開けられるね」宝箱封筒の上にカギを乗せる。</li> </ul>		P1 ★クレヨン
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「皆の力で開いたよ。魔法のビー玉だ！でも…色が消えてる！」「どうしよう」等、子ども達に問い掛け、自分達で色を塗るように促す。</li> <li>プリントを配布し、クレヨンの準備をする。</li> <li>しっかり紙を押さえて、ゴシゴシと同じ方向ではみ出さないように塗る。</li> <li>色を沢山使ったり、混ぜたりしながら、世界で1つだけの魔法のビー玉にする。</li> <li>出来上がったら、発表会や壁に貼るなどして称賛する。</li> </ul>		保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものフォロー</li> <li>称賛</li> </ul>

<b>数チャレ</b>	<b>数</b>	5個の操作が出来る	教材
<b>設問</b>	おはじきを使い、5個の操作をしましょう		おはじき 皿
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今月は「5」の数の操作です。予め皿におはじきを4個入れておき、別の皿（数個入っている）から1個取って加え、全部で5個になったか数える。（難易度を上げるようであれば3個にする。）</li> </ul>		保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> <li>皿の提示</li> <li>子どものフォロー</li> <li>称賛</li> </ul>

### ■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	ビー玉を効果的に使用し、お話の世界に子ども達を連れて行くことが出来たか
活動①記憶	発言の機会を全体に与えることが出来たか
活動②巧緻性	はさみの切り方指導を的確に行えたか
活動③表現	クレヨンの塗り方指導を行ったか
数チャレ	「4と1で5」の理解をクラスに合わせて指導出来たか(数変更可)

### 楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・想像力 \*\*\*

### 今月のえかきリズム

\*\*\* クッキー \*\*\*

#### 粘土制作

1. 指先を使い、怪獣、船、宝箱等、自分で考えながら作る。
2. 出来上がったら展覧会等をして飾って楽しむ。

こねこね、何作るのかな？



粘土遊びは指先を使うので、五感の中でも触覚が養われます。想像力・発想力・思考力等いろいろな力もつきます。



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

